

これからどうなる？ 社会保障

財源を生み出す公正な税制を考える。

主催：大阪弁護士会 / 大阪社会福祉士会
大阪精神保健福祉士協会
大阪医療ソーシャルワーカー協会

介護・医療・年金・障害・生活保護など、暮らしにかかわる多くの分野で、給付削減・利用者負担増の制度改変が相次いでいます。政府が計画的に進める「社会保障改革」の全体像はどういうものなのか、背景には何があるのでしょうか。「財源がないから社会保障は抑えるしかない」「財源確保には消費税率を上げるしかない」の声に疑問を持ち、経済的格差が広がった中、税制のしくみや財政支出の配分を変えるという選択肢によって社会保障を充実させるべきではないでしょうか。めまぐるしい制度改変に振り回されがちですが、改めて社会保障・財政・税制のあり方を考え、意見を述べていくきっかけにしたいと思います。

★一時保育サービスを実施（要予約・無料）

原則として首のすわっている乳児から未就学児
開会 15分前から閉会 15分後まで
希望される方は8月10日（水）までにお申し込みください。

申込先：大阪弁護士会人権課
[TEL 06-6364-1227]



会場アクセス

京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口1から徒歩約5分
地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩約10分
地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
JR東西線「大阪天満宮」または「北新地駅」下車 徒歩約15分

プログラム

講演1 「各分野で進行する社会保障制度改革のこれまでとこれから」

後藤道夫さん（都留文科大学名誉教授）

1947年生まれ。専攻は社会哲学・現代社会論。日本の新自由主義改革とそれへの対抗構想を中心に研究。福祉国家型の生活保障論、政策論にとりくむ。『新たな福祉国家を展望する』（共編著、旬報社、2011年）、『<大国>への執念』（共著、大月書店、2014年）

講演2 「再分配と財政民主主義」

鶴田廣巳さん（関西大学商学部教授）

京都大学大学院博士課程単位取得（1976年）、『Basic 現代財政学 [第3版]』（共編著、有斐閣、2009年）、『現代租税の理論と思想』（共編著、有斐閣、2014年）、財政学会、地方財政学会理事等歴任。日本租税理論学会理事長。

現場からの報告（生活保護の現場から、介護の現場から）

パネルディスカッション

パネラー：赤石千衣子さん（NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長）

シングルマザーの当事者として活動。反貧困ネットワーク世話人。公正な税制を求める市民連絡会呼びかけ人。著書に『ひとり親家庭』（岩波新書）がある。

+ 後藤道夫さん + 鶴田廣巳さん



後藤道夫さん



鶴田廣巳さん



赤石千衣子さん

入場無料・事前申込不要 どなたでも参加いただけます。

日時

2016年 8月20日（土）

13:00~17:00 開催
(12:30 開場)

会場

大阪弁護士会館
2階ホール 大阪市北区西天満1-12-5